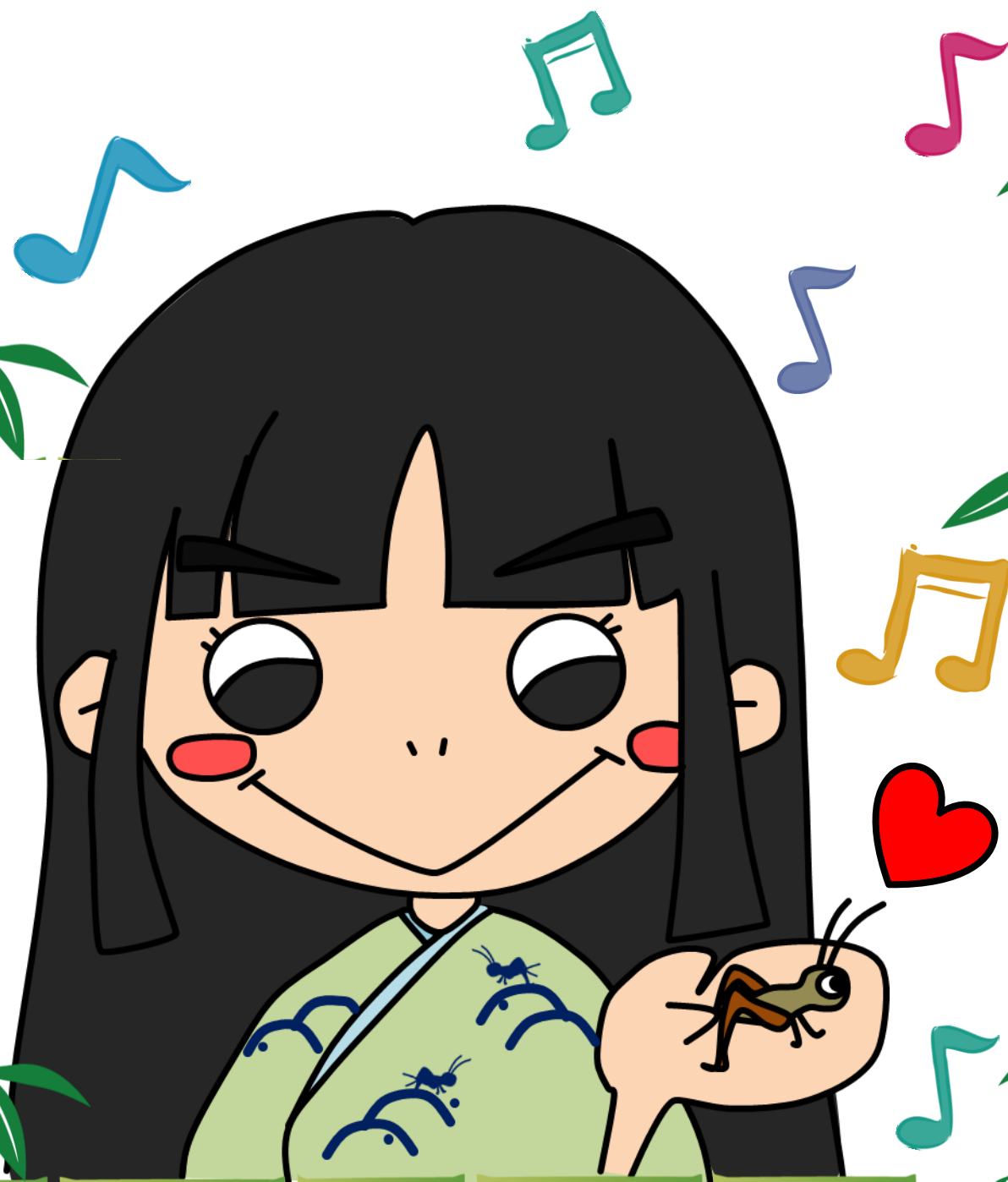




虫の声を楽しむ本

泉区中央の巻



作：仙台市環境局（R1.9.28）

泉区中央市民センターのまわりの地図



たちどまって
きいてみよう
ポイント

- ・市民センターから公園までの道は、車の通りも多いので気を付けて。
- ・地球儀のついた大きな遊具がある公園だよ。
- ・とても大きな公園で、あちこちから虫の声が聞こえるよ



ここで暮らしている虫たち

(令和元年9月28日にみつけた虫)

コオロギのなかま

シバズズ

エンマコオロギ

ツツレサセコオロギ

カネタタキ

キリギリスのなかま

クビキリギリス

バッタのなかま

ショウリョウバッタ

次のページでは、個性豊かな鳴き声をもつ、
コオロギやキリギリスのなかまをご紹介します！

6種類

コオロギのなかま

シバズズ



写真提供: 浅尾勝彦

6mmくらい

- ・ 芝生にいっぱいいる
- ・ 芝生を歩くと、ぴよんぴよんはねる。
- ・ 「ジ————」
体が小さいので声もちょっと小さい

エンマコオロギ



写真提供: 雛倉正人

3cmくらい

- ・ いちばんメジャーなコオロギ
- ・ コオロギの中では一番大きい
- ・ 歌うように、高い声で鳴く
- ・ 「コロローコロコロ…」
と鳴き声が表されることが多いけれど、コロコロよりキリキリの方が近い
(気がする)

ツツレサセコオロギ



写真提供: 雛倉正人

1.5cmくらい

- ・ エンマコオロギのような顔をしていないし、ハラオカメコオロギのように顔が平たくもない
- ・ 「リツリツリツリツ…」
ちょっとにごった「リツ」でテンポが速く、ひたすら続けて鳴く

コオロギのなかま

カネタタキ



写真提供: 雛倉正人

1cmくらい

- ・ 体の前半分は赤っぽい、後半分は黒っぽい
- ・ 植え込みや街路樹に多い
- ・ 「チツ チツ チツ チツ チツ」
金属っぽい音
さびついた自転車のブレーキ
のようにも聞こえる

キリギリスのなかま

クビキリギリス



写真提供: 伊藤元

3cmくらい

- ・口(あご)が赤く大きい
- ・他の虫たちよりも早くから(4月頃から)鳴き始める
- ・「ビー————」と電柱の変電器から聞こえそうな音で鳴く

おまけページ

将軍家に献上された宮城野のスズムシ

今からさかのぼること200年以上前、江戸時代。仙台の宮城野のスズムシの美声は全国に知られ、伊達藩から江戸(東京)の将軍家に毎年届けられていました。

なんと旧暦の8月1日(今の9月上旬頃)までは将軍様のために、スズムシ狩り禁止のお触れが出ていたくらいです。



仙台市の虫、スズムシ

こうした歴史もあり、スズムシは昔から仙台の人々に親しまれ、昭和46年には市民投票により「仙台市の虫」になりました。

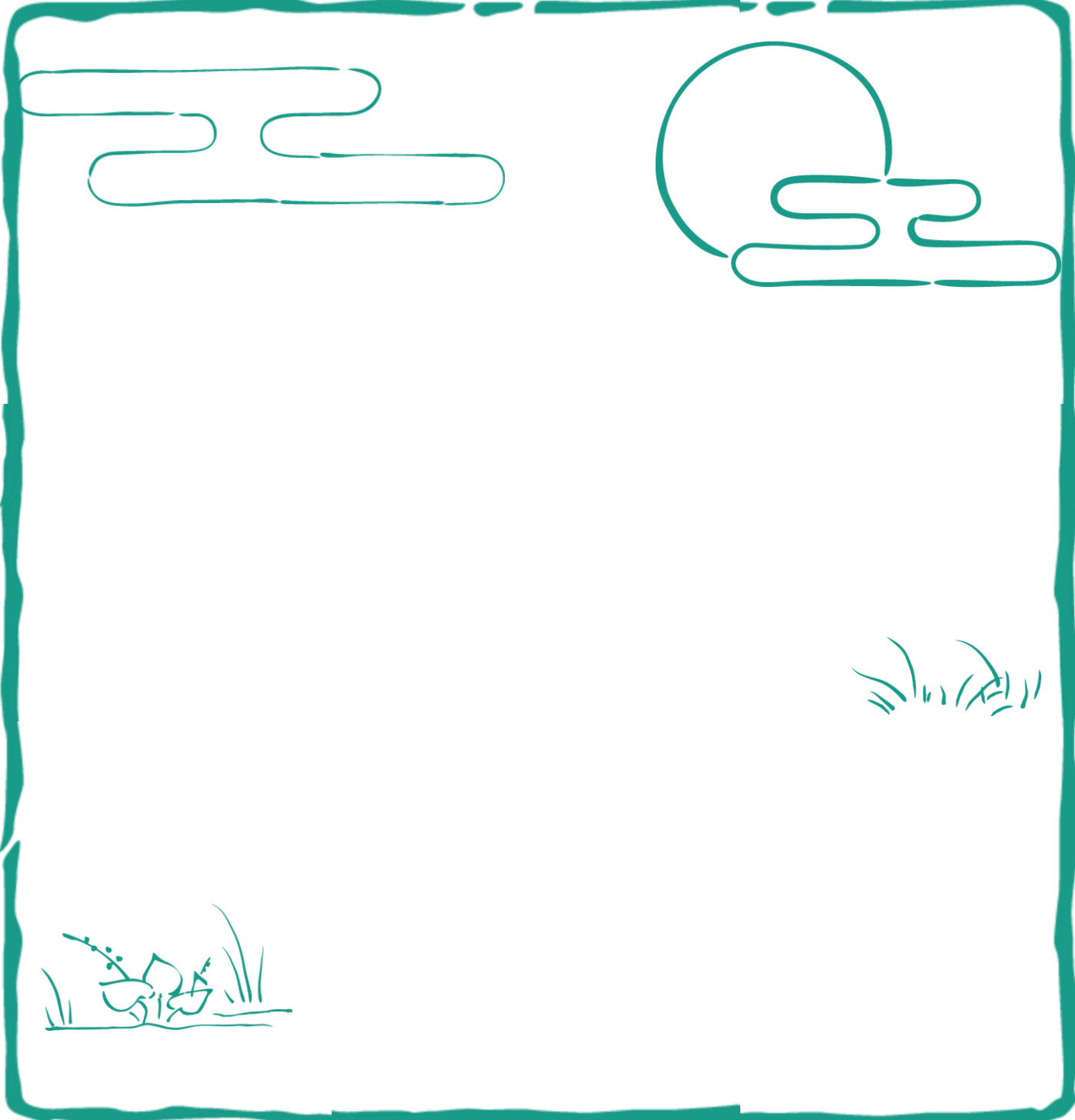
残念ながら、現在仙台で野生のスズムシはほとんど確認されていませんが、「すずむしの里づくり実行委員会」のみなさんの飼育・普及活動等により、季節になると、スズムシが美しい音色を奏で、多くの市民に愛されています。

岩切市民センターの「すずむし室」

宮城野区にある岩切市民センターには、スズムシ専用の部屋があります!その名も「すずむし室」。


このすずむし室では、毎年、数千、数万のスズムシ達が、「すずむしの里づくり実行委員会」のみなさんの愛情いっぱいのお世話のもと元気に育っています。毎年、夏になると配布会もしているので、家で育ててみたいという方は岩切市民センター(Tel 022-255-7728)まで!





この本は、生物多様性保全推進事業「虫の声を楽しむ会～泉区中央の巻～」（令和元年9月28日）でみつけた虫をもとに作りました。

◆作成協力：上森大幹（㈱地域環境計画）◆

 *****
ホームページで、虫の声を楽しむ会の様子や、様々な生きものの奏でる音を配信しています！のぞいてみてね。

生物多様性保全推進事業ホームページ
（仙台市環境Webサイト たまきさん内）

<http://www.tamaki3.jp/wildlife/index.html>



スマホや携帯で
バーコードを読み取ってみよう！